

# オオキンケイギク (キク科)

*Coreopsis lanceolata* L. 英名 lance-leaved tickseed  
ハルシャギク(Coreopsis)属



茎の根元から多数の葉が放射状につく

## 特徴

北アメリカ原産の多年生草本で、植物高は30～70cm程度。

花は直径5～7cmで、橙黄色。  
**開花は初夏(5～7月)。**

根生葉は長い柄があり、はじめはへら状、やがて3～5つに分裂。葉の両面にあらい毛がある。

種子から増える他に、地下茎からの栄養繁殖でも分布を広げる。

園芸種が導入され、逸出した個体が在来植物の生育場所を奪っていることが問題となっている。

生育地は路傍や河川敷、線路際、海岸等で、日本各地に分布を拡大。

**諏訪湖や周辺河川の地域では特に湖岸や河川敷、堤防法面や道路際等で定着。**

## 駆除のポイント

1. 開花結実前(5～7月)に地下部を含めた植物体すべてを掘り取る。
2. 刈り取る場合は開花結実前(5～7月)と地上部が最大高の時期(7～8月)の年2回以上実施。
3. 刈り取りは低い位置がよい。
4. 作業時の土壌かく乱を避け、埋め戻す。